



あゆみだより

私たちは、まず、自分の人生を大事にし、生きがいのあるものにしなければなりません。自分の人生を大事にするということは、同時に他人の人生も尊重することにつながります。そして、他人の人生を尊重するところに民主主義が生まれます。民主主義が生まれれば、いい社会になっていきます。いい社会とは、男女、障がい、外国籍、性的指向で差別が無く、私たちのことは私たちが話し合っ決めて、お互いの違いを認め合い、一人ひとりにとって心地よく暮らせる社会だと思います。

自分のことを今一度振り返り、「人生を大切にする」ということを子育てや保育・教育の基本にしていきたいものです。
園長 杉浦伸枝

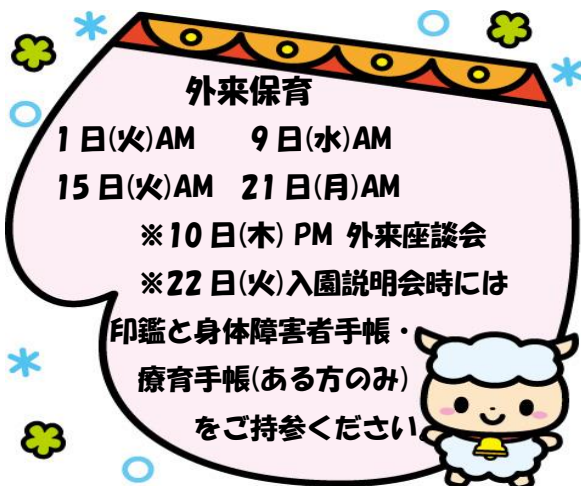


2月の予定

- 3日(木) 豆まき会
- 17日(木) ほし組分離
- 18日(金) 岡村 Dr.診察
- 22日(火) PM 入園説明会
- 24日(木) 誕生会、第4金曜日に変更
- 25日(金) お別れ遠足

職員出張

- 8日(火) 久保 (新城) AM
- 16日(水) 久保 (蒲郡)
- 17日(木) 増井 (田原) PM



外来保育

- 1日(火)AM 9日(水)AM
- 15日(火)AM 21日(月)AM
- ※10日(木) PM 外来座談会
- ※22日(火)入園説明会時には
印鑑と身体障害者手帳・
療育手帳(ある方のみ)
をご持参ください



2月生まれのおともだち

- 8日 えなちゃん 3歳
- 22日 なゆなちゃん 4歳
- 22日 あゆむくん 4歳



もう少し我慢すれば暖かい春がやってきます。でも、風邪やインフルエンザの季節ももう少し続きそうですね。お口があいているとウイルスなど体内に侵入しやすくなります。お口の機能を高めていくためにいくつか気を付けていただきたいことがあります。

・お口の周りをタッピングしてみよう！

食事の前や歯磨きの時など口唇の周りを指先でトントンとタッピングしてみましょう。刺激を与えてあげることでお口周辺の感覚機能を高めたり、お口を閉じる意識を高めることができます。声を出している時に手を当てながらアワアワして遊んでみるのもいいですね。お口の真似っこができるお子さんはお口をぐっと閉じる真似をさせたり、大きく開けてから閉じたり、その他にも舌の動きの真似などを行うことでお口全体の機能を高めていきましょう。

・何かに集中している時に口を閉じ鼻呼吸を意識させる。

よだれが多いお子さんには特に必要です。閉じる時は口唇だけでなく下顎から手で支えて閉じてあげましょう。よだれが多いお子さんに関しては、唾液をゴックンするまで支えて見守ってあげるといいですね。顎を支えた時、喉元に指を当てておくとゴックンする様子を確認しやすくなります。触られることに抵抗が強い場合、脱感作(過敏を取る訓練)が必要な場合があります。ST リハの時に話を聞かせてください。また、よだれが多いお子さんは拭いてあげることも大事ですが、タオルと一緒に持って拭いたり、自分で拭ける子は自分で拭いてもらったりすることで「お口からよだれが出ている」という意識を持ってもらえるように関わってみましょう。

・シャボン玉や吹き戻し、ラッパ吹きなどの遊びをしてみよう。

吹くことが難しいお子さんもまずは液をつけないでストローを口唇で挟むことから始めましょう。あまり深くくわえさせると噛んでしまう子が多いので大人が指で数ミリだけ出して歯で噛ませない工夫をしましょう。吸ってしまう心配をされる方がいますが、最近のシャボン玉専用ストローは吸っても口腔内に液が入ってこない構造になっているものがほとんどです。ストローを口唇で挟むことは口唇を閉じる力を高めていきます。また、直接吹くタイプは口唇を丸める必要があるので難易度は上がりますが、「ふ」や「う」の音を出す時のお口の形を作る練習になります。吹き戻しはものによって強度の差が大きいので、大人が吹いてみて吹きやすいかどうかまずは試してみるといいかと思います。

